

## 2018年度植物工場 研修No7

# 「あなたの栽培現場における最適培養液管理を共に作り上げます」

### ◆フォローアップ研修全体を振り返って、研修内容はいかがでしたか◆

#### ■とても役に立った

実際の栽培現場を使った研修だったので、即現場で実践することが出来て、結果を実感出来ました。  
また、現状の栽培方法で気づき難くなっている問題点にもアドバイスがもらえ、改善することが出来ました。  
単肥配合こそ叶いませんでしたが、培養液の成分組成の重要性を再認識し、設計方法を学びました。

### ◆フォローアップ研修全体を振り返って、担当学生の対応はいかがでしたか◆

#### ■とてもよかった

根腐れや葉の黄化など、研修中植物体の異常について様々な質問をしましたが、その都度、こちらの「何とか解決したい」という気持ちを共有してくれ、全く嫌がることなく真剣に話を聞いてくれて、時に周囲の学生さんにも聞きながら的確なアドバイスをしてくれました。

### ◆フォローアップ研修全体を振り返って、よかった点と悪かった点を挙げてください◆

研修に必要な測定機器や備品類は揃えてもらえ、当方で準備するものは精製水くらいでした。  
研修以外の作物の問題にも快くアドバイスをしてもらいました。  
現行の肥料の配合割合を修正するだけで適正な培養液を作製することが出来ました（硝安のみ新規購入）。  
試料の作製（正確な希釈）が大変でした。

### ◆フォローアップ研修および過去の千葉大学の研修を受講して、改善した点、またそれによって得た成果があれば具体的にお書きください◆

原水の特長やシステムの吸収特性を考慮した濃厚原液の処方の変更と投入方法の変更（一遍→少量ずつ）により、根腐れと生育不良が改善されました。  
**イチゴの収量が前年比で1.5倍になりました。**

### ◆全体の感想◆

大大満足の研究でした。  
実際の現場での研修というのが、即結果につながり、みるみる良くなっていくイチゴを見るのは、まるで魔法のようでした。  
長期に亘りご指導いただき、本当にありがとうございました！  
来シーズンは収量10tを目指し努力して参りますので、引き続きどうぞよろしくお願い致します！

# 「あなたの栽培現場における最適培養液管理を共に作り上げます」

## 2017年度以前の感想まとめ

### ◆どのように役に立ちましたか◆

- ・実際の栽培を通して研修を受けられたため、理解から応用するまでの期間が独学より短縮出来た。
- ・単肥処方のための作業過程と計算過程が習得できたこと。
- ・曖昧だった培養液管理の具体的な手法について、今後も実施できる形で身に付けることが出来た。
- ・現状の栽培状況を改めて詳しく認識することで、問題点を洗い出すことが出来た。
- ・複合肥料から単肥で原液を作成出来るようになった。
- ・単肥に切り替えたことで成分管理ができるようになり、養分吸収に合わせた処方を作成出来るようになった。
- ・自分の思い込みやアバウトな計算で今まで培養液の設計を行ってきたが、それが修正されて適切となった。

### ◆改善した点、それによって得られた成果など◆

- ・処方改善でレタスのチップバーンが減った
- ・人工光栽培での環境設定（温度、湿度、日照時間など）にアドバイスをもらい、育成スピードがアップした。
- ・育成サイズが全体的に向上した(平均100gから110gへ向上)
- ・肥料コストが削減した
- ・単肥処方を作成できるようになり、育成に合わせた培養液で育成の違いを確認できるようになった。
- ・栽培回数を重ねることで、育成ステージに応じた最適な培養液の管理ができるようになると思う。
- ・肥料の単肥化が軌道に乗った。
- ・収量がどんどん上がっている。
- ・単肥処方が出来るようになったので今後最適化していきたい。

### ◆研修の良かった点◆

- ・消耗品の配布(培養液分析の基本作業に必要な消耗品の選定、準備をして貰えた点)
- ・育成や病害虫に関する個別相談にも回答をもらえたこと。
- ・実際の肥料吸収に近い培養液組成を作成できたことで育成が改善した。
- ・培養液管理が身近なものになった。